

アフリカの食糧増産 Feed Africa

アフリカにおける農業変革の道のり





日本語版は、あくまでも便宜的な利用を目的として、
正文の英語版より和訳しています。
適宜、英語版を参照して頂くようお願いいたします。



Dr. Akinwumi Adesina
アキンウミ・アデシナ
アフリカ開発銀行グループ総裁

Foreword

アフリカは毎年、食料輸入にあまりにも多くの支出をしています。2016年の輸入額は約350億米ドルで、このまま抑制しなければ、2025年までに1,100億米ドルに増加すると予想されています。

これは、アフリカの中心的な労働人口の60%以上が農業に従事していることを考えると、大変な矛盾といえます。しかもアフリカは、世界の耕作可能な未耕作地の65%と豊富な水資源を擁しています。

一方で、気候変動へのレジリエンスを備えかつ雇用や富の創出と健康促進を図ることのできる、現代技術を推進力とする農業が、アフリカの変革に不可欠です。

アフリカ開発銀行の目標は、アフリカの農業セクターを根本から変革し、食料自給を実現し、子供達の未来に影を落とす食料不安と栄養不良に終止符を打つことです。

そこでアフリカ開発銀行は、テクノロジーの普及と、給水や灌漑、資金へのアクセス改善に向け、農業クラスターの形成と真のバリューチェーンの構築を積極的に支援しています。アフリカの農業バリューチェーンの変革には、認識のパラダイムシフトが必要です。自給自足農業はあまりにも長い間、苦勞の多い重労働、貧困、苦痛を連想させるものでした。これも変えなければなりません。アフリカ開発銀行は、この大陸の農業の未来形成を助けるため、富を創造していくアフリカの若者の新たな世代の理念を適切なリソースを以って信頼、支援、擁護していきます。

大変光栄なことに、私は「2017年世界食糧賞」を受賞いたしました。この受賞が、アフリカが抱える栄養摂取と健康へのニーズ、アフリカ開発銀行の優れた取り組み、そして農業開発を加速し何百万もの人々を貧困から救うドナーや投資家のコミットメントの拡大に門戸が開かれていることに対して、世界の関心が寄せられるきっかけとなることを切に願います。

これが私のビジョンであり、願いです。そして我々の共同の運命です。

新たなアフリカ農業の発展に我々が日々力を尽くせば、その努力はきっと実を結ぶでしょう。アフリカの運命は食料を世界へ供給することで、その逆ではないということに、私はかつてない確信を抱いています。



食

糧増産 (Feed Africa) は、アフリカの農業をグローバル競争力を備えたインクルーシブでビジネス志向なセクターへと変革し、富と有給雇用の創出や生活の質向上に資するものにするイニシアティブです。また、アフリカ全域や他の地域で成功を取めた既存の取り組みの拡大を図るイニシアティブでもあります。

また「食糧増産」は、「包括的アフリカ農業開発プログラム(CAADP)」（農業変革、富の創出、食糧安全保障と栄養、経済成長、全ての人々の繁栄を実現するためのアフリカの政策枠組み）に基づくコミットメント¹に呼応するもので、各国政府、地域経済共同体、民間セクター、農家、開発パートナー、研究機関、市民社会組織など幅広いアクターと密に連携

し、CAADPの目標達成に向け以下に寄与していきます。

- 極度の貧困の撲滅
- 飢餓と栄養不良の根絶
- 農産品について輸出額が輸入額を上回るようにすること
- 複数の主要農業バリューチェーンの頂点に立つこと

「食糧増産」戦略は、前向き志向の取り組みです。農業セクターの成長はもとより、食糧安全保障も含む重要な成果を確実に上げようとするもので、また、女性や若者の社会参加拡大を通じてインクルーシブな成長を後押しするものでもあります。さらに、気候変動・ショックに対するレジリエンスの向上も目指しています。

「食糧増産 (Feed Africa)」の重点項目

目標	1	2	3	4
	極度の貧困の撲滅	飢餓と栄養不良の根絶	農産品について輸出額が輸入額を上回るようにする	複数の主要農業バリューチェーンの頂点に立つ
				
	雇用創出による貧困削減と持続可能な生計の確保に寄与	「栄養不良状態」にある人々全員に対する食糧安全保障	アフリカにて生産可能な農産物の大規模輸入を止め、選択的に輸出を開始	バリューチェーン全体または加工バリューチェーンのどちらかで、市場シェア（金額ベース）が首位となる
2025年までの達成目標	最大で1億3,000万人が極度の貧困を脱する	飢餓と栄養不良をゼロに	アフリカ農産加工品のシェアを市場価値で約40%まで高める（例：カカオ磨砕）	

¹ 2003年の「マプト宣言」と2014年の「馬拉ボ宣言」に、「包括的アフリカ農業開発プログラム(CAADP)」のコミットメントが示されている。



なぜ「アフリカにおける農業変革」か

農業は、アフリカ経済にとって欠かすことのできないものです。また、アフリカの大多数の人々の日常生活にとっても同様といえ、農業が雇用に占める割合は60%を上回ります²。この重要な役割にもかかわらず、農業セクターが域内GDPに占める割合は、その低生産性によって4分の1に留まっています。例えば、カカオ豆は世界の生産量の73%を占めていますが、カカオ磨砕量では16%です。穀物の単位収量は国際平均のわずか41%で、生産基盤以外の民間セクターのインフラは相対的に未整備のままです。

農業生産性の低さは、人的・経済的なコスト高を招いています。高止まりの貧困率は、亜湿潤地帯のギニア・サバンナ地域や半乾燥地帯のサヘル地域といった大規模な農業生態ゾーンにて特に顕著で、こうした場所では人口の50%以上が1日当たり1.25米ドル未満で暮らしています。また、アフリカ全体で2億3,200万人余りが栄養不良状態にあります³。低生産性は、農業の競争力をも奪っています。極度の貧困層は、このまま策を講じなければ2015年の4億2,000万人から2025年までに5億5,000万人へ増加すると予想されます。

土地所有権の安定とグッドガバナンスは、アフリカにとって引き続き大きな課題です。大半のアフリカ諸国には基本的な土地所有関連法があるものの、それは不完全で執行力に劣り、民間投資を阻んでいます。コミュニティの多くで農地は主に女性が使用していますが、土地利用権を有する女性の割合は、男性の概ね半分に満たない状況です。

気候変動の傾向により、農業変革はますます急務となっています。天水農業セクターへの依存度が非常に高いアフリカは、気候変動の影響を既に過度に受けており、農地や牧草地の劣化によって農家は単位収量の低下に直面しています。

天然資源のコモディティ価格が幅広く下落しているため、アフリカ諸国にとって輸出の多様化と貿易赤字の削減の必要性が増大しています。人口増加や都市化といった人口統計学的要素に起因する食料需要の増大や食習慣の変化により、食料の純輸入量が急増しており、2015年に350億米ドルだった輸入額は2025年までに1,100億米ドル超へと増加する見込みです。

こうした輸入量の増加は、アフリカの農業にビジネスとしての変革の可能性が大いにあることを示唆しています。国内生産可能な農産品の現在の輸入規模は、民間アグリビジネスセクターを活性化できれば、満たすべき需要が存在することを示しています。またこれらの食料輸入は、年間収益1,000億米ドル超相当の主要一次産品・加工品・農業関連産業などの多岐にわたる市場があることを示しています。そしてこれらは食糧安全保障、雇用創出、裾野の広い経済成長を実現できるものです。

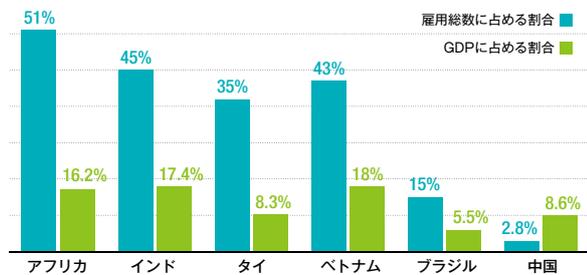
² AGRA, 'Africa Agriculture Status Report,' 2013. (訳注：サブサハラ・アフリカにおける雇用に占める農業従事者の割合)

³ FAO, IFAD and WFP, 2015. The State of Food Insecurity in the World 2015. Meeting the 2015 international hunger targets: taking stock of uneven progress (世界の食料不安の現状 2015年報告 2015年の国際的な飢餓削減ターゲットの達成：不均一な進捗状況を検証する)

アフリカでは農業が依然として主要な所得源。しかし、そのポテンシャルが開発されておらず、根強い貧困と食糧安全保障の悪化を招いてきた。

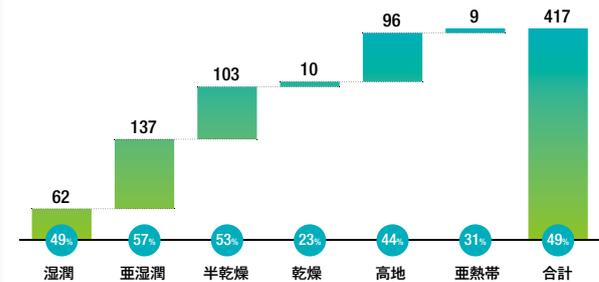
雇用と所得のギャップ

農業が雇用とGDPに占める割合 (単位: %、2016年)



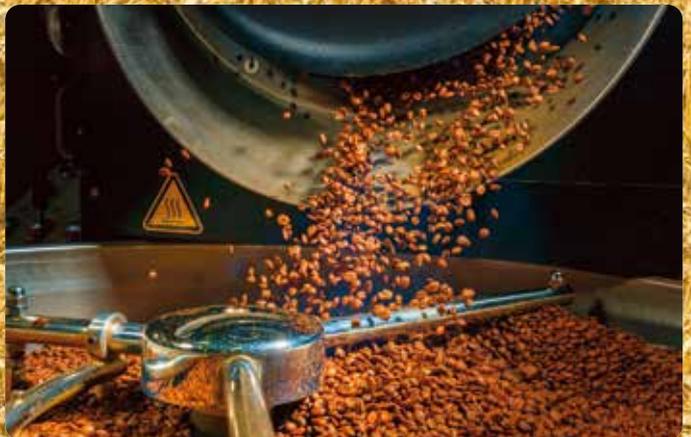
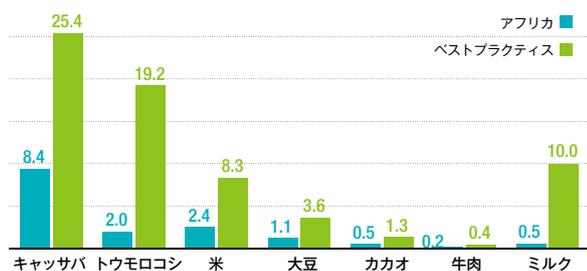
アフリカの主な農業生態ゾーンに貧困が蔓延

1日当たり1.25ドル未満で暮らす人口 (単位: 100万人、2014年)



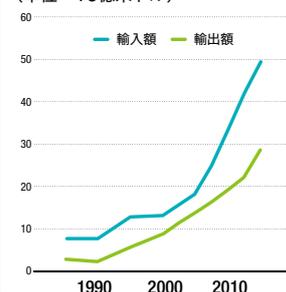
生産性が相対的に低い

アフリカ全域の平均収量 vs. ベストプラクティス (単位: トン/ヘクタールまたは頭数、2013年)

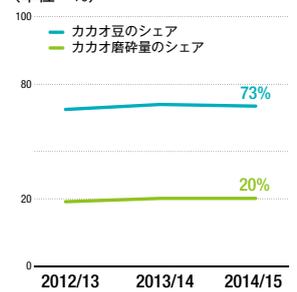


輸入量の急増と輸出の低迷

輸入額 vs. 輸出額 (単位: 10億米ドル)



アフリカのカカオのシェア (単位: %)





農業変革のビジョン

アフリカは農業変革によって、人々の生活の質の大幅な向上を図り、経済成長を支えることができます。変革のための条件は、多くの国々で整いつつあります。これまでに、投入財市場の自由化や革新的な農業金融の拡大、土地政策改革によってアフリカ各地で著しい進歩が実現し、その結果として変革が誘発されてきました。その一部を以下にご紹介します。

- ケニアの園芸作物と、エチオピアの花弁
- ルワンダにおける栄養不良水準の急速かつ大幅な改善
- ナイジェリアにて、肥料補助金の交付を容易にする電子ウォレットシステムへの大規模な農家登録
- セネガルにおける米セクターの変革
- チュニジアはここ5年でオリーブ油の最大輸出国へと変化し、年平均11万5,000トンを生産

上記は、アフリカにおける変革の具体例で、アフリカ農業の大規模転換の方向性を明らかにするもの

です。変革の成功要件として、ビジネス主導なことで、次の3条件が揃っていることが挙げられます。

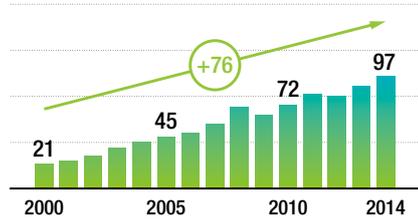
- 生産性向上のための技術と肥料等投入財が大幅に普及し、投入財と資本が集約されていること
- 生産物の完全な現金化を容易にする、投入・産出市場、構造、およびインセンティブが整備されていること
- 民間セクターが、十分に機能し活力と競争力を備えており、新たな成功事例を拡大するためのスキルや資金の管理・配分と、長期的で持続可能なアグリビジネス成長の牽引が可能なこと

10年以内に主要輸出国になる

ケニア：
アフリカ域外への園芸作物の輸出



園芸作物輸出の総額
単位：10億ケニア・シリング

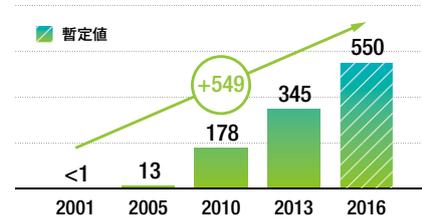


10年以内に主要輸出国になる

エチオピア：
アフリカ域外への花卉の輸出



花卉輸出の総額
単位：100万米ドル



投入財販売の近代化による単位収量の向上

ナイジェリア：
大規模な農家登録と肥料等投入財の販売



登録農家総数
単位：100万人



成果

成功要因

- 園芸産業の発展と振興における外国投資家・パートナーの強力なサポート
- 安定供給を確保するための契約農業モデル
- 小規模農家の発展を支援する政治的意志

- エチオピア園芸生産輸出業者組合(EHPEA)による積極的なセクター管理
- (1)インフラとロジスティクス (2)土地利用権 (3)長期信用の供与 (4)国内外投資家の誘致に対する政府の強力な支援

- 肥料等投入財の供給システムを変革するための強固な政治的意志と政府の支援
- 公的資金を活用した民間セクターの投資（農業ディーラーのネットワーク）呼び込み
- モバイル通信技術を活用した国内全域でのアクセスの拡大・提供



出典：Kenya National Bureau of Statistics; World Bank "Exporting Out of Africa — Kenya's Horticulture Success Story" 2004; GRIPS "Global Value Chains and Market Formation Process in Emerging Export Activity: Evidence from Ethiopian Flower Industry" 2010; Observatory of Economic Complexity; Market Insider "Ethiopia cut flower industry's success story" 2015; The Economist "If only Nigeria could revamp its farms" 2013; Grow-Africa "Fertilizer Subsidy Reform Revives Nigeria's Agriculture"; Federal Ministry of Agriculture and Rural Development (FMARD), Nigeria; Dalberg analysis



「食糧増産」の対応

ダカール・ハイレベル会議

アフリカ開発銀行は2015年10月にダカールにて、アフリカ連合委員会(AUC)、国連アフリカ経済委員会(ECA)、セネガル政府と共に、「食糧増産：アフリカ農業を変革するための行動計画」と題したハイレベル閣僚会議を開催しました。この会議の目的は、アフリカ農業のポテンシャルを解放し、包括的アフリカ農業開発プログラム(CAADP)の目標に沿って経済の多様化を図るための方策をまとめることでした。

この会議には、アフリカ各国政府の金融・計画・経済大臣、農業・農村開発大臣、主要な産業・貿易大臣、中央銀行総裁のほか、研究機関の専門家、研究者、投資機関、市民社会組織の代表、アフリカ内外の専門家など、600名余りが参加しました。

「食糧増産」は、この会合で参加者が約束したコミットメントはもとより、それ以前のコミットメントや既存の活動の上に成り立つものです。

アフリカ開発銀行とそのパートナーは、様々な主要農産品と農業生態ゾーンの変革アジェンダを追及しています。「食糧増産」の目標達成には広範囲にわたるバリューチェーンの強化が必要ですが、短・中期的には、厳選した農業バリューチェーンと関連農業生態ゾーンに資源を集中させます。対象とする農業バリューチェーンと関連農業生態ゾーンの選定にあたっては、将来需要、競争優位性、変革前進の余地、栄養供給のポテンシャル、既存の重点項目といった一連の基準に基づいて優先順位付けを行います。

飛躍的な増産と
生産性向上

生産性向上のための
技術・投入財・資本
の大幅な普及

追加生産物の現金化を
容易にする市場構造の
同時並行的整備を
投入・産出市場の構造
／ガバナンスの整備と
インセンティブの構築
により実現

十分な資金に裏打ちされ
た民間セクターを動員し、
この民間セクターによっ
て新たなアグリビジネス
成功事例の拡大を図り、
長期的かつ持続可能な
アグリビジネスの
成長を推進

具体的には、「食糧増産」
戦略は商品に焦点を
当てた統合アプローチ
で、優先する農産品
バリューチェーン全体と
関連する農業生態ゾーン
内において複数のボトル
ネックに同時並行的に
対処するものである

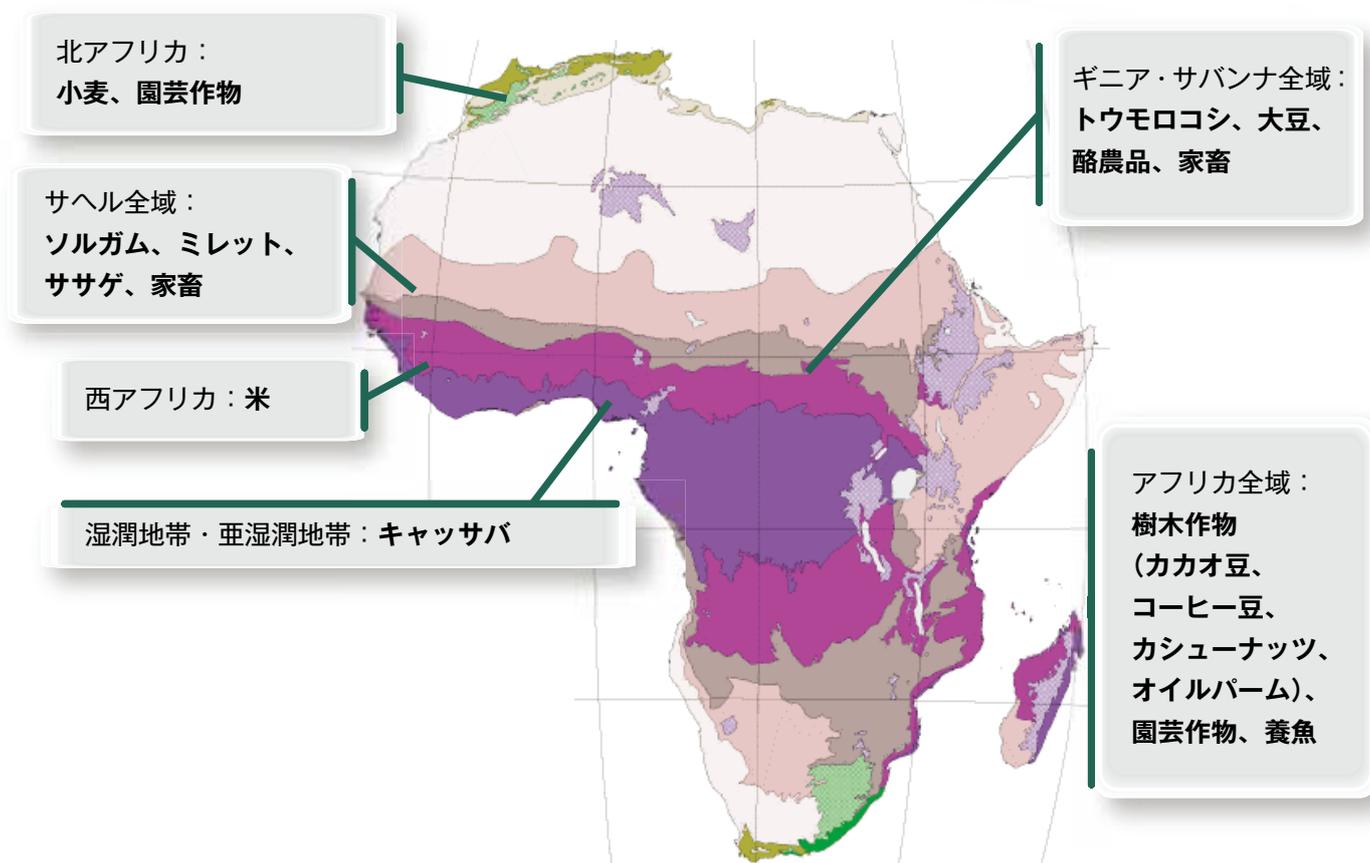
公共セクターの役割は、
こうしたプロセスを促進するとともにその拡大を導き、民間セクター主導の
変革を可能にする環境資産・条件を整備すること



左から右へ順に：アグネス・カリバタ（アフリカ緑の革命同盟(AGRA)総裁）、トニー・エルメル（エアーズ・ホールディングCEO）、ロダ・ピース・ツムチメ（アフリカ
連合農村経済・農業担当コミッショナー）、アキンウミ・アデシナ（アフリカ開発銀行総裁）、マッキー・サル（セネガル共和国大統領）、オーギュスタン・マタタ・ボニョ・
マボン（コンゴ民主共和国首相）、アブダラ・ハンドック（国連アフリカ経済委員会(ECA)副事務局長）、シディ・ウルド・タ（アフリカ経済開発アラブ銀行総裁）
写真提供：アフリカ開発銀行

食糧増産：アフリカ農業を変革するための行動計画（2015年10月）

優先する農産品バリューチェーンと農業生態ゾーン



将来需要

消費習慣やニーズ
の変化を考慮した
将来需要予測



競争優位性

対輸入品や輸出市
場における競争力
を効率的に備える
ことのできる根拠



変革前進の余地

現行基金・資産と
実現可能な目標を
比較したときの、
生産性活動の大幅
向上をもたらすポ
テンシャル



栄養供給の ポテンシャル

カロリーだけでは
なく（ポートフォ
リオとして）広範
困な栄養価値を提
供できる農産物を
優先



既存の重点項目

新たに確立するの
ではなく、AUや
NEPADが選定し
た既存の優先農産
品等との整合性の
あるものを優先

アフリカにおける農業変革の実現

優先する農産品バリューチェーンと農業生態ゾーンにおいてアフリカの変革ポテンシャルを実現するには、投資誘致に様々なタイプの支援が必要です。総体的に不可欠な条件は7つあり、その内容は以下の通りです。

#1: 生産性の飛躍的向上

- 農業技術の普及（旗艦プログラム：アフリカの農業変革のための技術）
- 投入財金融と投入財システムの開発
- 農業の機械化

#2: 付加価値の拡大

- 収穫後損失(PHL)の防止
- 農産加工ゾーン、クラスター、回廊

#3: ハード・ソフトインフラへの投資拡大

- インフラ開発・調整
- 農民の電子登録

#4: 農業金融の拡張

- 民間の投資銀行・商業銀行による農業向け貸付（旗艦プログラム：リスク共有ファシリティ）
- 非銀行系の中小企業向け金融と能力向上

#5: アグリビジネス環境の向上

- 政策改革：(i)土地所有、(ii)投入財補助金、(iii)国内生産・加工のインセンティブ、(iv)金融セクターの深化、(v)地域統合・貿易

#6: インクルーシブ性・持続可能性・栄養摂取の向上

- 気候レジリエンスのための資金調達、気候変動対応型農業の実践
- 女性オーナーの農業・アグリビジネス企業
- アグリビジネスにおける若年雇用（旗艦プログラム：ENABLEユース）
- 食糧安全保障、栄養不良の予防

#7: 変革推進のためのパートナーシップの調整

- 公共セクター・民間セクター・開発組織といった主要アクター間のパートナーシップ



このアプローチが現場で機能するには 何が必要か

- **すでに効果の上がっているものの拡大・活用：**
「食糧増産」イニシアティブは、優れた結果の出ることが普遍的に実証されているか、有望なパイロット事業の拡大・複製を伴うものです。
- **完遂に十分なスキル・能力の確保：**
完遂には、資源が根本的に利用可能な状態であることのみならず、適切なスキル・能力が必要です。
- **対象が十分に絞られていること：**
アフリカ開発銀行は、農業向け資金の規模拡大を図り、その資金を一連の農産品と農業生態ゾーン

へ配分することにより、農産品・農産業の幅広い専門知識を通じて複数国にわたるバリューチェーンを推進していきます。

- **政治的意思の重要性に対しての忠実さ：**
変革には相当な変化が伴うため、(1)政治的優先順位が高いこと、(2)省庁間の調整、(3)事業・開発の利益を押し通す強い意志、が不可欠です。

農業変革：費用の算定と便益の実現

農 産品バリューチェーンと農業生態ゾーンの変革は、2025年までに年間**850億米ドル**相当の市場を開放し、貧困削減と飢餓根絶に関する持続可能な開発目標（SDGゴール1と2）の達成に多大な影響を与えます。

戦略における優先農産品・農業生態ゾーンの変革費用は、10年間で総額3,150~4,000億米ドルです。これは年間**315~400億米ドル**に相当します。この投資規模は、公共セクターから現在利用可能な資金をはるかに上回る水準です。そして、**この意欲的な目標を達成するための資金は、アフリカ内で、そして潜在パートナーを通じて、十分に確保できます。**

「食糧増産」には、官民両セクターの幅広いアクターの資源を結集する全アフリカ的なアジェンダが必要です。そして、変革を実現するには、協調とパートナーシップ、さらにはこのパートナーシップにインセンティブを付与する革新的金融商品の開発が不可欠です。こうした変革の資金源となり得るものには、例えば以下が挙げられます。

- アフリカ諸国政府の2014年の農業支出は約120億米ドルでしたが、公共事業予算の10%を農業に配分するという「マラボ」コミットメントはまだ実現しておらず、政府は国家的責任感を持って変革への投資の大幅拡大を図らねばなりません。
- 2014年の対アフリカ農業支出額は、多国間ドナー、二国間ドナー、国際金融機関、財団、非政府組織を合わせて約38億米ドルでした。アフリカ開発銀行は、農業への年平均投資額を引き上げることを意図しています。
- 民間セクターや機関投資家の資金は、極めて重要な資金源です。商業銀行のバランスシートや革新的資金調達メカニズムの有効利用を検討することも潜在的な選択肢です。
- アフリカの農業・アグリビジネスへの外国直接投資(FDI)は、2014年には100億米ドル相当でした。アグリビジネスの成長に適した条件を整備し、

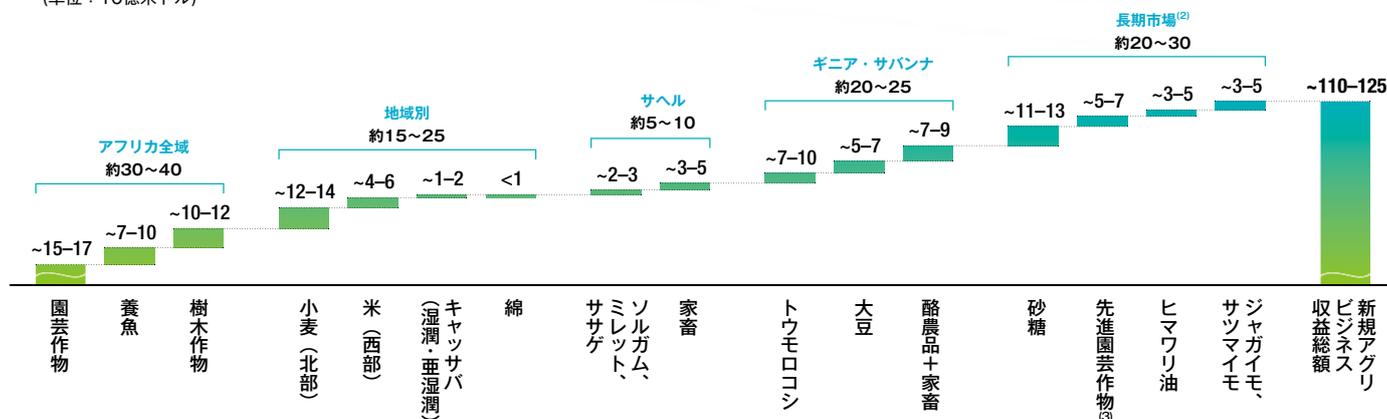
民間セクターの既存の投資戦略を変革目標とすり合わせることは、アフリカのアグリビジネスセクターの魅力を高め、FDIの流入額増加につながるでしょう。

- 持続可能でレジリエントな気候変動対応型農業の開発を確実に行うことの重要性は、COP21⁴で合

意した目標の達成や、関連する気候変動対応資金の調達コミットメントの実現と密接に連携しています。したがって、農業変革の中核部分（特に農産品生産の持続可能な集約化）や持続可能な天然資源管理に対し、追加的かつ重要な資金確保が可能です。

潜在的な農業・アグリビジネス市場⁽¹⁾の収益機会の増加

(単位：10億米ドル)



注：(1)市場は輸入パリティ価格により評価し、これら製品の卸売市場価格の代用とみなしてよい；(2)変革戦略の実施当初5年が経過した後、将来的に検討を行う追加的な重点領域；(3)生産性の高い園芸手法を適用することで園芸作物の輸出市場におけるアフリカのシェアを大幅に拡大する
出典：CGAIR; FAOstat; Dalberg analysis

⁴ 2015年の国連気候変動枠組条約第21回締約国会議(締結国会議)、於パリ

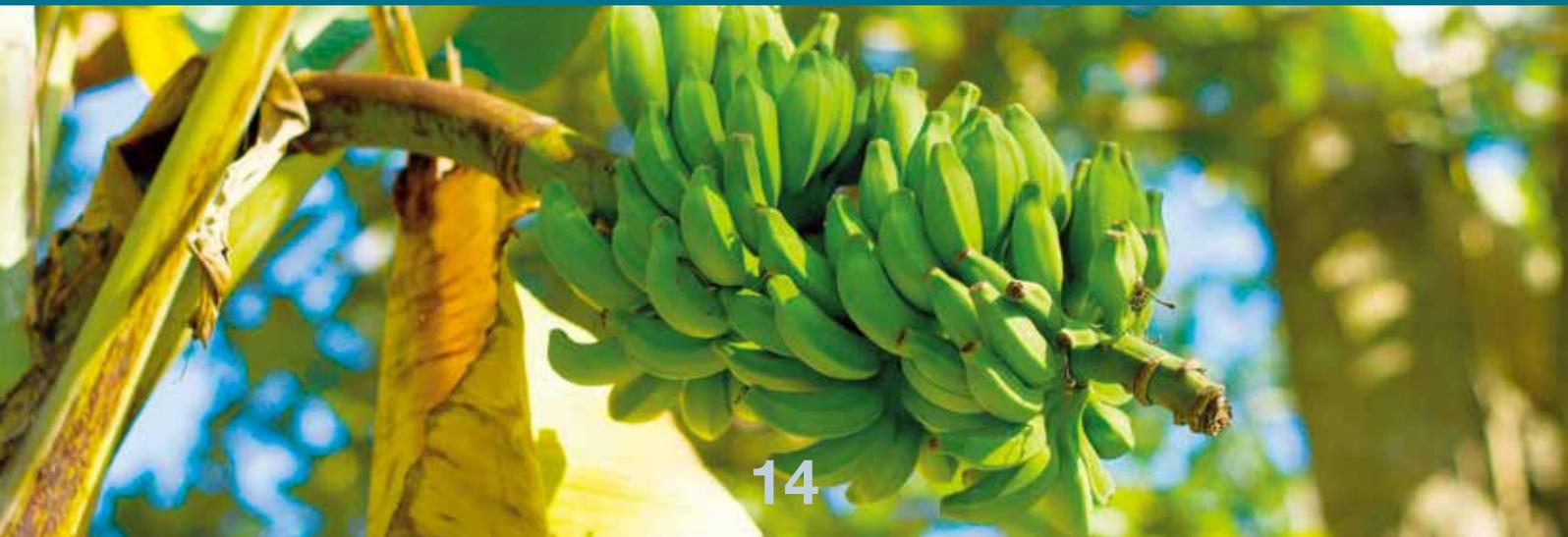
アフリカ開発銀行の役割

アフリカ開発銀行は、アフリカ諸国の農業セクター支援に豊富な経験を有しており、「食糧増産」アジェンダの実現において極めて重要かつ触媒的な役割を果たしていきます。また、アフリカ諸国・機関の重要な投資家・議長・アドバイザーとしてのユニークな立場とこれまでの経験を活かし、各地に分散している取り組みを調整・拡大していきます。特に、成功を収めた既存の変革イニシアティブの取りまとめ・設計・拡大に、パートナーと協力して取り組みます。



変革のためのパートナーシップ

変革アジェンダの実現には、様々なステークホルダーやパートナー間の調整が欠かせません。そこで「食糧増産」は、対象とする個別バリューチェーンの変革アジェンダの調整を行う既存のプラットフォームを、以下の方法で強化していきます。





「アフリカの農業変革のためのパートナーシップ」のハイレベルな体制

全組織を網羅したリストではありません



統合バリューチェーンへの介入のための農産品別作業グループ

- 第1作業グループ：
米
- 第2作業グループ：
カカオ
- 第3作業グループ：
キャッサバ
- 第4作業グループ：
...
- 第5作業グループ：
...
- 第6作業グループ：
...
- 第7作業グループ：
...
- 第8作業グループ：
...

包括的アフリカ農業開発プログラム (CAADP)

2014年の赤道ギニア・マラボにおけるアフリカ各国元首・
政府首長のコミットメントと目標

1. 包括的アフリカ農業開発プログラム(CAADP)プロセスの原則・価値に対する再コミットメント

2. 農業への投資金融の強化に対する再コミットメント

- 公的支出に占める農業セクターへの配分比率10%の維持
- アフリカ投資銀行の運用化

3. 2025年までの飢餓撲滅に対するコミットメント

- 生産性を少なくとも2倍に向上（重点項目：投入財、灌漑、機械化）
- 収穫後損失(PHL)を少なくとも半減
- 栄養摂取：低体重児を5%に発育阻害を10%にそれぞれ低減

4. インクルーシブな農業成長・変革を通じた2025年までの貧困半減に対するコミットメント

- 農業セクターGDPの年成長率を少なくとも6%で維持
- 小規模農業との関わりが顕著な少なくとも5つの優先農産品バリューチェーンにおいて、インクルーシブな官民パートナーシップを確立・強化
- 農業バリューチェーンにおいて若者の少なくとも30%に雇用機会を創出
- 有給で魅力あるアグリビジネスへの女性・若者の優先的参入・参加

5. 農産品・農業サービスのアフリカ域内貿易促進に対するコミットメント

- 農産品・農業サービスの域内貿易を3倍に拡大
- ファストトラックの大陸自由貿易圏の実現と、アフリカ全域での対外共通関税制度への移行

6. 生計、生産システム、気候変動、その他のショックにおけるレジリエンス強化に対するコミットメント

- 2025年までに少なくとも30%の農家／牧畜家がショックに対するレジリエンスを備えるよう確保
- レジリエンス強化のイニシアティブ（農村労働者や他の社会的弱者集団向け社会保障など）と脆弱なエコシステムへの投資拡大
- 政策・戦略・投資計画におけるレジリエンスとリスク管理のメインストリーム化

7. 行動・結果に対する相互の説明責任についてのコミットメント

- 包括的アフリカ農業開発プログラム(CAADP)判定枠組みを通じた、農業レビュープロセスと判定の隔年実施



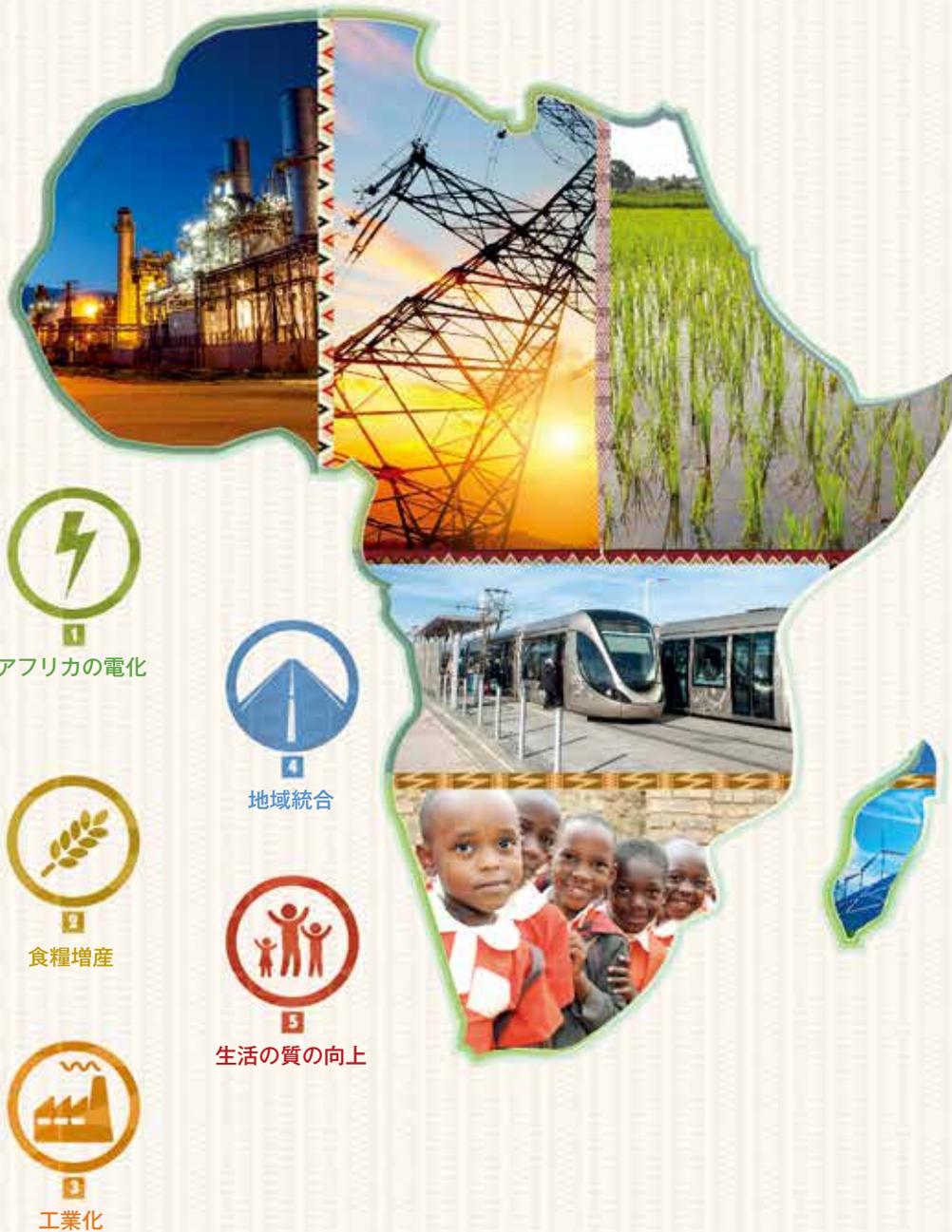
アフリカ開発銀行グループ

Communication and External Relations Department
Rue Joseph Anoma 01 BP 1387 Abidjan 01 (Côte d'Ivoire)
Tel: +225 20 26 44 44 · Fax: +225 20 21 31 00

www.afdb.org
www.afdb-org.jp

2017年10月

The High 5 for transforming Africa pour transformer l'Afrique



High 5sアジェンダ

High 5s(ハイファイブズ)は、アフリカ開発銀行およびアフリカにとっての5つの最優先分野であり、アフリカの社会経済改革の実現に向けたアフリカ開発銀行の2013~2022年の「10年戦略」を重点化し、スケールアップするための道筋です。「アフリカの電化」「食糧増産」「工業化」「地域統合」「生活の質の向上」の5つの分野からなり、「10年戦略」における表裏一体の目的「万人に共有されるインクルーシブな成長」および「グリーン成長への段階的移行」を達成するため策定されたものです。